

## 平成30年度市政懇談会について

市政懇談会は、市の広聴事業の一つとして、地区の自治会長（又は自治公民館長）の皆様と、市の施策や市政の課題を始め、各地区で抱えている諸問題についてご意見をいただき、その内容を市政に反映させるとともに、市政への参加意識の高揚を図ることを目的に、毎年7月に実施しています。



平成30年度は、次表のとおり市内の10地区で開催いたしましたので、その内容についてお知らせいたします。

番号	地区名	開催日	参加者数	ご意見内容
1	大田原 地区	7月10日（火）	31名	大田原地区市政懇談会内容
2	金 田 地区	7月17日（火）	20名	金田地区市政懇談会内容
3	親 園 地区	7月12日（木）	17名	親園地区市政懇談会内容
4	野 崎 地区	7月12日（木）	20名	野崎地区市政懇談会内容
5	佐久山 地区	7月17日（火）	12名	佐久山地区市政懇談会内容
6	湯津上 地区	7月12日（木）	13名	湯津上地区市政懇談会内容
7	黒 羽 地区	7月11日（水）	20名	黒羽地区市政懇談会内容
8	川 西 地区	7月11日（水）	21名	川西地区市政懇談会内容
9	両 郷 地区	7月18日（水）	13名	両郷地区市政懇談会内容
10	須賀川 地区	7月20日（金）	17名	須賀川地区市政懇談会内容
合計	10地区		184名	

## 大田原地区市政懇談会

日 時：平成30年7月10日（火）午後1時30分  
会 場：大田原東地区公民館



### 懇談テーマⅠ 少子化・子育て・男女共同参画に関するご意見

（株）資生堂の大田原進出について、市として近く見込まれる人口減少の支えになるよう対応すべきであると考えます。行政の対応策をお聞きしたい。

#### 《ご回答》

誘致企業からの質問・疑問や要望にスピーディに対応するため、今年1月に「大田原市企業誘致庁内連絡調整会議」を発足させ、庁内の関係部署との連絡調整を図りながら、来年の資生堂那須工場の操業開始に向け、許認可等の調整を図っているところでございます。

資生堂那須工場の操業に伴い、地域経済や地域雇用構造へ与える波及効果は大きいものと期待しておりますので、関係機関等との連携を更に密にし、本市の産業振興に繋げていける様、オール大田原で積極的に支援してまいりたいと考えております。

### 懇談テーマⅡ 公園周辺等の整備に関するご意見

蛇尾川緑地公園のトイレと防犯灯設置について

龍城公園、蛇尾川緑地公園の今後の整備計画について

水辺公園の進捗状況と今後の総合的な考え方について

#### 《ご回答》

河川区域内の公園であるため、河川管理者である栃木県と協議し、仮設トイレを2ヶ所設置しており、通常の利用では支障のない状況であり、大会などで不足が生じる場合などは、大会主催者側でご準備いただくようお願いいたしております。防犯灯については、本年9月にソーラー式の防犯灯を1基設置いたします。

蛇尾川河川敷の整備改修計画については、今後、堆積土砂を移設することがある場合に、県と協議してまいります。

水辺公園については、未整備地がつながるよう用地買収をすすめ、未整備地の利活用を図

りながら、既存の森林や善勝川を活かし、健康増進に資する機能を備えた公園整備を調査研究し、整備してまいりたいと考えております。

#### 懇談テーマⅢ ふるさと納税に関するご意見

ふるさと納税をしてもらう場合は、使い道を明確にし、かつ返品のないような方法を考えられないのか。ふるさと納税をした結果、効果が上がるようにしていただきたい。また、寄付していただいたお金の目的に沿って使い、その使った内容を公表すること。

#### 《ご回答》

ふるさと納税によるご寄附を頂く際、例えば「子育て支援のための事業」や「地域福祉向上のための事業」など、あらかじめ設定した 10 項目の「まちづくりのための事業」の中から、希望される寄附金の使い道をお選びいただき、受入れた寄附金の活用実績についても、市のホームページ等において、10 項目の「まちづくりのための事業」別に公表しております。今後は、使い道に関する具体的な内容も公表に加えるようにいたします。

#### 懇談会でいただいた主なご意見

##### ○資生堂進出に伴う地元雇用、転勤者の住宅事情、交通の利便性について

《ご回答》 地元雇用に重きを置いているが、詳細は聞いておりません。転勤者も同様です。近隣市町も含めての地元雇用と考え、そこをメインとしています。

今後、通勤向けということであれば、需要調査を行い路線の軽微な変更、増便などを検討していきます。

##### ○市と自治会を含めた防災体制の必要性について

《ご回答》 まずは自主防災組織を作ってください、運営費補助金を活用しながら運営をしていただければと思います。組織ができていれば、西日本災害のようなときにも活動ができると思います。もちろん行政も一緒に取り組んでいきたいと考えております。

##### ○美原公園東駐車場のゴミが不法投棄について

《ご回答》 廃棄物監視員に重点的にパトロールさせるようにいたします。また警察にも連絡して日常のパトロールのなかで巡回していただきます。

大会などであれば、ゴミの持ち帰りを主催者に啓発していきたいと考えております。

○河川清掃への子どもたちの参加について

《ご回答》 河川の場合は危険が伴いますが、子どもたちがボランティアに参加することは非常に重要なことだと思います。市からの河川愛護活動の通知にも、その旨明記をさせていただきたいと考えております。

○荒町への公衆トイレの設置について

《ご回答》 中央通りへの公衆トイレの設置については、利用状況を考え、必要性、設置場所等について、公共施設個別配置計画のなかで検討していきます。

○電柱の地中化について

《ご回答》 大きな道路は、地中化の方向に向かうと思いますが、全ての道路で地中化はできません。できるところから実施していきたいと考えております。

## 金田地区市政懇談会

日 時：平成30年7月17日（火）午後1時30分  
会 場：金田北地区公民館



懇談テーマⅠ 地球環境・廃棄物・エコ対策に関するご意見  
有害鳥獣駆除の今後の方向性とそのネックになっている点について

《ご回答》

有害鳥獣対策は、防護柵で農作物を守る「防除」、藪の刈払いや放任果樹を除去して野生鳥獣が近寄りにくくする「環境の整備」、個体数を調整する「駆除」の3つを総合的に実施することが有効とされているため、今後も銃器による駆除をお願いしたいと考えております。

猟友会の後継者の問題は、全国的な問題であり、栃木県に関わらず後継者不足となっています。ほかの自治体では、免許取得にかかる講習会費用を補助する方法が見受けられます。市としましては、猟友免許の講習会補助ができるかどうか検討をしているところでございます。

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

中田原工業団地周辺および国際医療福祉大学周辺の交通渋滞の緩和について  
安心家制度の現状について。

《ご回答》

国道461号の国際医療福祉大学入口付近から旭橋付近までの区間が渋滞しており、当該区間のうち、信号のない市道中田原倉骨線との交差点について、市道の道路改良を計画し、信号機設置の方向で事業を進めております。また、片側2車線化を県に要望することも含め、渋滞の解消に向け継続的に取り組んでまいります。

富士電機北側丁字路から旧東野鉄道線に向かいまして、新しい道路を整備するため準備しております。そして農機具センターから、その新しい道路に接続する道路を改良する方

向で進めています。

「あんしん家」の看板のメンテナンスについては、最寄の小学校または学校教育課までご連絡をお願いします。今後も「あんしん家」の機能がより発揮できますように、子どもたちへの周知の徹底を図るなどして、更なる子どもたちの安全で安心な生活を守ってまいります。

### 懇談テーマⅢ 地球環境・廃棄物・エコ対策に関するご意見

ゴミ量の増加と焼却処理する設備面の能力、耐用年数等はどのような状況なのか。また、今後のゴミ減量対策、リサイクル、分別等の考え方も含めお伺いしたい。

#### 《ご回答》

大田原市と那須町の家庭ゴミを主として処理する広域クリーンセンター大田原には、焼却炉が2炉あり合計1日120トンの焼却処理能力となっています。平成29年度の焼却量は、1日あたり約86トンであり、ゴミの搬入量は年々減少傾向にあります。まずは分別の徹底等によりゴミそのものの減量化をお願いいたします。

広域クリーンセンター大田原では、平成31年度からの3か年で、ボイラーやクレーンなどの基幹的設備の改良工事を実施する計画となっています。

今後も、適切な施設の維持管理により、長寿命化を図ることとし、大田原市も那須町とともに協力して事業を推進してまいります。それでも、ゴミが増えますと、施設に与える負担も大きくなりますので施設の延命化のためにもゴミの資源化・減量化にさらなるご協力をお願いいたします。

#### 懇談会でいただいたご意見

##### ○国道461号の路面凍結について

《ご回答》 国道461号は管理者である大田原土木事務所に依頼します。また凍結場所の歩道部分については、融雪剤散布で対応いたします。

##### ○国道461号と市道内環状北大通り線の交差点から南大通り線丁字路までの渋滞について

《ご回答》 信号操作について、大田原警察署に要望済

##### ○ゴミステーションにほかの地区から持ち込まれたゴミは違反ゴミなのか、不法投棄なのかについて

《ご回答》 不法投棄か違反ゴミかと言う話ですが、指定袋に入っていると違反ゴミになると思います。

○小中学校のトイレ洋式化とエアコン設置について

《ご回答》 トイレの洋式化については、平成 34 年度を目途に各学校のトイレの約半数を洋式化に整備しているところです。

また、エアコン設置については、平成 31 年度夏までに普通教室に設置予定となりました。（ただし、建設予定の大田原中を除く）

○新庁舎の喫煙対策について

《ご回答》 健康増進法の一部を改正する法律が 7 月 25 日に公布となり、敷地内原則禁煙となるため、例外規定による対応を検討しております。

○既存の自主防災組織への資機材の補助について

《ご回答》 すべてを市が対応することは難しい。170 自治会あって、まだ半分程度しか結成されていません。今は組織化に力を入れているということで、ご理解いただきたいと思います。

○下深田地区圃場整備事業の進捗と事業範囲の拡大について

《ご回答》 県営の調査計画事業が終わりまして来年度から面的工事に着手となります。区域の統合は時期的には遅いため、新たに圃場整備事業を実施したいということであれば、20ha 以上まとまれば県営、それ以下であれば団体営となりますが、いまは県営の圃場整備事業を推進しております。希望があれば地元説明会を行いますので、農林整備課にお問い合わせください。

○福祉大奥沢側の市有地の今後の整備計画について

《ご回答》 白さぎ湖を国より払い下げし、周辺の私有林 7ha を市が取得したところです。白さぎ湖周辺については湿地であるため、河川の堆積土砂の搬出に合わせ埋め立てをしていきます。少々時間はかかりますが、まずは土地の確保、次に埋め立て、その後公園として利用、地元と協議しながら進めていきたいと考えております。

## 親園地区市政懇談会

日 時：平成30年7月12日（木）午前9時30分  
会 場：親園農村環境改善センター



### 懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見

- ① 中学校の進入路の舗装の残り部分の早期着工について
- ② 大田原喜連川線改善センター前の交差点への横断歩道の設置について
- ③ 市道親園佐久山線の道路拡幅及び全面舗装について
- ④ 市道滝岡5号線の百村橋の架け替え及び道路拡幅と全面舗装について
- ⑤ 主要地方道大田原氏家線筋違橋付近丁字路のガードレールの改修について

#### 《ご回答》

- ① 本年度は9月補正により中学校周辺を年度内に整備いたします。
- ② 横断歩道の設置等、交通規制に関しましては栃木県公安委員会が行うこととなっておりますので、大田原警察署に対しまして、横断歩道の設置を要望してまいります。
- ③、④ 道路の拡幅や橋梁の架け替えとなりますと、多額の費用が見込まれますことから早急な事業化は現時点におきましては、困難な状況であります。まずは、改修に着手している路線の早期完了を目指すとともに緊急性などを考慮しながら整備を推進してまいりたいと考えております。ただし、百村橋の改修については本年度手すりの設計に入りたいと考えております。
- ⑤ 本市道は通学路の指定がなされているため、歩行者の安全第一を考慮し改修してまいりたいと考えております。

### 懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

日本特殊ガラス跡の土地、建屋および煙突にはかなりのダイオキシンが蓄積されていると思いますので、早期にダイオキシンの測定と煙突の撤去や建物の解体について

#### 《ご回答》



日本特殊硝子工業株式会社の工場建物及び土地につきましては、これまで敷地の管理不全に対し、代表取締役あてに通知したところ宛先不在で返戻となっております。

煙突の倒壊の恐れがあるところのご指摘につきましては、煙突等の解体について市の顧問弁護士に相談したところでは、所有者に対する通知による指導以外にできないとの回答でありました。

また、ダイオキシン等の調査につきましても、同様に依頼をすることができない状態にあります。

本施設は、硝子製品の製造を行っていた際に使用していた煙突だと思われるので、規制の対象とはなっておらず、ダイオキシンが多量に蓄積されているとは考えにくい状況だと思っております。また、県が行っております大気汚染の常時監視でも、環境基準を超える結果は報告されておられません。

### 懇談テーマⅢ 高齢者対策・医療・福祉に関するご意見

行政区域の世帯数および人口が不正確であるため、データを分析しても正確な答えがでない。現状にマッチした統計処理と統計情報を出していただきたい。

#### 《ご回答》

人口の捉え方には二通りありまして、住民基本台帳に基づく人口と国勢調査に基づく人口であります。二つの人口数値は併用して使用しておりまして、統計データとしては、市全体の数値は毎月人口を使用し、行政区別の数値は住基人口を使用して公表しております。自治会単位の人口、世帯につきましては、住民基本台帳で管理しておりませんので、毎年、市から各自治会に照会し、自治会加入世帯数のみを把握しているのが実情であります。

したがいまして、自治会単位の数値が必要な場合は、自治会独自の調査により把握して頂きますようお願いいたします。

#### 懇談会でいただいたご意見

##### ○百村橋の点検結果について

《ご回答》 点検結果は市HPで公表しています。

##### ○オイル流出事件の自治会への連絡について

《ご回答》 事の大小に関わらず、第一に地元へ連絡する体制を取っていきたいと考えております。担当職員も県の職員と一緒に対応していたため、後手に回ってしまい、大変失礼いたしました。

##### ○大田原喜連川線への「親園中入口」の看板の設置について

《ご回答》 設置を確認しませんでしたので、今年度内に設置いたします。

○通学路への優先的な除雪、融雪剤の散布について

《ご回答》 大田原喜連川線の除雪は入っていますが、荻野目 4 号線の山のところも優先的に実施したいと思っています。

○小学校の統廃合の現在の検討状況について

《ご回答》 当面は福原小と佐久山小が統合したいということで、説明会を予定しております。

○劣化した停止線の対応について

《ご回答》 丁字路なので、規制が必要なら市を通して大田原警察署、公安委員会に要望してまいります。破線でよければ、市が対応したいと思います。

○JR 野崎駅の橋上化について

《ご回答》 乗降人数が JR 側の基準である 3 千人に達していないため、地元要望で橋上化する場合には多額の費用が地元負担となります。野崎こ線橋通りの実施時期を見据えながら、中長期的な課題として取り組みます。

○消防操法協議会で優勝した消防団への補助について

《ご回答》 予算があることなので、検討させていただきます。

○火葬場の休憩スペースや共有スペースの狭さについて

《ご回答》 那須地区広域で運営しており、施設の長寿命化を図るという観点から設備の修繕を行っております。

○市営バスの路線追加について

《ご回答》 地域の交通に関しては、地域の実情にあった交通手段を行政と事業者と市民が連携して育てていくものと考えています。バス・デマンドに限らず様々な手段、NPO やボランティアによる運営など地域に合った形態を検討していくためにも、生の声が一番重要となりますので、生活環境課までご意見をいただきたい。

## 野崎地区市政懇談会

日 時：平成30年7月12日（木）午後1時30分  
会 場：野崎研修センター



### 懇談テーマⅠ 地方創生・行財政改革に関するご意見

平成31年度から導入の予定の野崎地区のデマンド交通については、利用者の利便性を優先して欲しい。野崎駅を拠点としてもらいたい。

#### 《ご回答》

野崎地区におけるデマンド交通の導入につきましては、「地域公共交通網形成計画」の中の事業の1つとして、“地域状況に対応した小さな交通の導入”に基づき計画し平成31年度の実施に向け、本年度準備を進めているところです。

計画の原案を、7月25日に開催する「地域説明会」で提示する予定であり、その後、そこでいただいた意見等を反映し、まとめたものを再度9月頃に皆様に提示できればと考えております。

なお、現在作成中の原案につきましては、区域内の移動はデマンド交通により野崎全域をカバーできるようなサービスとし、区域外への移動は、野崎駅などの拠点から他の公共交通機関により移動していただこうと考えております。

### 懇談テーマⅡ 教育・文化・スポーツに関するご意見

学校の周辺の桜の木等が古木化し、枝が枯れたり、枝が伸び放題になっているので、整備をお願いしたい。植え替えの予定はあるのかも伺いたい。

#### 《ご回答》

教育総務課では、毎年約200万円を学校敷地内の樹木伐採に関する予算として措置し、市内小中学校28校の樹木の伐採や剪定などを実施しております。

毎年度、上半期には枯れ木などの伐採を行い、下半期には老木などの伐採を行っております。順次、各学校の枯れ木や老木の伐採、剪定等を行ってまいりますので、ご理解

をお願いいたします。

なお、新しい木の植樹につきましては、現在のところ考えておりません。

### 懇談テーマⅢ その他のご意見

- ①国道4号線バイパスの進捗状況について
- ②市道野崎こ線橋通りの進捗状況について
- ③野崎駅東口周辺整備（地籍調査）の進捗状況、野崎地区の再開発の構想について

#### 《ご回答》

①国道4号は都市計画道路でありますので、現在の路線からバイパス路線への都市計画の変更が必要となるため、平成29年12月に関係市であります大田原市、矢板市において都市計画変更の説明会を開催したところであり、本年10月頃には都市計画変更が決定することとなっております。

工事に着手するまでの手続きといたしましては、都市計画変更手続きが終わり、都市計画決定がされたのちに、新規事業採択時評価の手続きを国土交通省で行い、採択後に新規事業化となり、その後は、測量や地質調査を実施し、道路の設計を行い、用地買収後に工事に着手することとなります。

②市道野崎こ線橋通りのご線橋区間につきましては、平成29年度に一般県道西那須野・薄葉線と認定され、事業者である大田原土木事務所が事業の説明会を開催し、路線測量が実施されました。

今年度は、道路設計と橋梁設計を実施し、年内に第2回の事業説明会と都市計画変更説明会を実施するとのことです。

③地籍調査につきましては、一筆地調査に始まり、測量、面積計算、原図作成、地籍簿案の作成、閲覧と2年を要す事業であり、最終的に法務局送付を行い、登記完了までには約3年を必要とする事業であります。

平成29年度から平成31年度にかけて、下石上、野崎2丁目及び薄葉の一部を実施することとしており、本年度は、下石上Ⅰ地区は閲覧に向けた調整を行い、下石上Ⅱ・薄葉Ⅰ地区は一筆地調査を実施し、県道滝沢野崎停車場線より南となります薄葉Ⅱ地区につきましては、平成31年度実施に向けて予算要求等の調整を行っています。

#### 懇談会でいただいたご意見

○上石上の桜並木がすばらしいので、箒川の堤防沿いなども桜並木にしてもらえないか。

《ご回答》 箒川は一級河川ですので、土木事務所との協議も必要になりますし、植えるにあたっての場所の確保、過去の溢水状況の確認など、調整が必要に

なります。

○通学路のブロック塀の点検の実施と、その対応について

《ご回答》 通学路にある私有地のブロック塀については、大規模な地震が来ることを念頭に点検していただければと考えております。各学校で見回り、それぞれに是正をお願いしたところ です。

○こ線橋通りの歩道の路面凍結について

《ご回答》 野崎こ線橋通りの除雪作業に追加いたします。

○野崎駅の案内看板について

《ご回答》 改修を検討いたします。

○AED のコンビニ設置について

《ご回答》 地区公民館には地区内の AED 設置箇所をマップにして掲示してあります。そちらを参考にして、万が一の場合には一番近い場所の AED を使ってくださいと思います。

○ふれあいの森の整備について

《ご回答》 山林所有者の理解のもと、契約により 5 年間お借りしている場所であり、契約終了となった場合、構造物等は撤去して元に戻すことになってお返しすることとなっており、これ以上の施設増築は厳しいと考えます。

○亀裂の入ったブロック塀への対応について

《ご回答》 建築基準法に違反して建てられたブロック塀が被害を与えれば、所有者に賠償責任が及びます。市の対応は「点検してください。適法に安全性を確保できているか確認してください。」とお知らせするだけとなります。

○空家となった住宅地への課税について

《ご回答》 住宅が建っていると軽減して固定資産税を賦課しています。複数年住んでいないから軽減を外すというようなことは、国の制度ができない限り市町独自の対応はかなり難しいと考えます。

○漏水があったときの対応について

《ご回答》 今後は個別周知や広報車により周知いたします。

## 佐久山地区市政懇談会

日 時：平成30年7月17日（火）午前9時30分  
会 場：佐久山地区公民館



懇談テーマⅠ 公共施設の利活用及び教育・文化・スポーツに関するご意見  
佐久山中学校の校舎等の今後の利用について  
福原小学校、佐久山小学校の存続について

### 《ご回答》

佐久山中学校の校舎につきましては、廃校になったばかりですので、来年度にサウンディング調査を実施し、地元の活性化につながるような活用方法を検討したいと考えております。運動施設につきましては、「大田原市学校跡地運動場の設置及び管理に関する条例及び施行規則」に則り、名称を佐久山多目的運動場及び体育館として、引き続き市民に開放する予定です。

佐久山地区に関しましては、佐久山小学校と福原小学校の統合を優先的に進めることが選択肢としては有効ではないかと考えております。

なお、福原小学校の佐久山小学校への統合につきましては、今年度、両校の保護者に対して説明会、意向調査を行い、その結果を踏まえて地域住民の皆様と意見交換をしながら進めてまいりたいと考えております

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

- ①大沢地区の消火栓設置について
- ②岩井橋上流までの堆積土砂の除去工事の実施、箒川堤防の岩井橋上流の補強またはかさ上げについて
- ③佐久山地区公民館周囲の水路のかさ上げ工事または水門の管理の調整について

### 《ご回答》

大沢地区は給水戸数が少ないことから、小口径の配水管が敷設されているため、消火栓

の増設が困難となっております。消火栓の設置が困難な地域につきましては、大田原消防署と協議しながら防火水槽の設置を検討してまいります。

現在のところ、岩井橋上流の堤防補強等の計画は無いとの事ですので、河川管理者に今後パトロール等による監視をお願いしてまいります

大雨に関する気象情報が発表された場合等、早めに水門を開けることで、越水対策につながることも考えられますので、水門の管理者と水門の開閉について協議してまいります。

### 懇談テーマⅢ 記念樹の森構想に関するご意見

広報で、大神地区に記念樹の森を造るという記事があった。以前の計画が白紙になっていたと思うが、どのような公園を計画しているのか、お聞きしたい。

#### 《ご回答》

記念樹の森は面積が約 64ha と大規模で、事業を進めるにあたって整備費用や将来的な維持経費等の懸念もあり、計画を一旦白紙に戻し、民間活用も視野に入れながら有効な手法を検討してまいりました。当初、豊かな自然環境を後世に伝えていく農林公園として整備し、記念樹の植栽、自然体験、農業体験、レクリエーション等のエリアが計画されておりました。新たな計画は現段階では明確になっておりませんが、隣接するふれあいの丘には宿泊施設がございますので、スポーツ施設を整備し一体的な利用を図ることも一案ではないかと考えております。

### 懇談会でいただいたご意見

#### ○佐久山中の投票所と移動投票所について

《ご回答》 廃校になっても投票所は変更いたしません。また、平成 31 年度執行予定の栃木県議会議員選挙、参議院議員通常選挙、大田原市議会議員選挙の 3 つの選挙で、試行的に佐久山地区公民館に期日前投票所を半日設置する予定であります。

#### ○婚活マスターについて

《ご回答》 婚活マスターは地区にいるのではなく、講座を受けていただいた方にマスターになっていただき、マスター同士で情報を交換するものです。

## 湯津上地区市政懇談会

日 時：平成30年7月12日（木）午前9時30分  
会 場：市役所湯津上支所 103会議室



懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見  
市道鹿畑小船渡線（通称5号支線）の事業計画について

《ご回答》

市道鹿畑小船渡線は、一般県道親園・南金丸線の鹿畑地区から一般国道294号の小船渡地区を結ぶ、延長3.9kmの幹線道路ですが、車両のすれ違いが困難であり、歩道が未整備となっています。新市建設計画道路であった市道鹿畑小船渡線の振替えとして、国の交付金事業により市道狭原石田線を優先的に進めております。まずは改修に着手した路線の早期完了を目指したいと考えております。

その後、鹿畑小船渡線には着手していきたいと考えております。道路の陥没等があれば対処させていただきます

懇談テーマⅡ 公共施設の利活用に関するご意見  
湯津上庁舎に関する利活用の経過について  
サウンディング調査の具体的な内容とその再開について

《ご回答》

湯津上庁舎については、総合窓口課及び会議室、2階の図書室はそのまま利用する計画であり、教育部や選挙管理委員会及び監査委員事務局の事務スペースについて利活用を検討しております。

サウンディング調査とは、市場性や民間企業が参入しやすい条件を調査するものであります。平成29年9月に様々なルートを通じて公募したところではありますが、申し込みはありませんでした。湯津上庁舎は、建物が新しいことや駐車場が広いことはメリットですが、デメリットとして一つの事業所で使うにはスペースが広すぎることや、利活用に当たって



発生する改修費が不透明である等のご意見をいただきました。

今年度につきましては、昨年の反省点も踏まえ 9 月頃に再度調査を実施したいと考えております

#### 懇談会でいただいたご意見

○合併以前に提出した要望書の通学路整備のうち未整備路線について

《ご回答》 合併の際には「合併推進協議会」があり、そのなかで申し送りされていたのかどうかは調べてみます。現場等を見せていただいて対処してまいります。

○地域住民がハザードマップを知る努力と周知の徹底について

《ご回答》 平成 24 年にハザードマップを全戸配布しておりまして、またネット環境が整っていれば HP でも確認できます。あとは市民の意識の持ち方だと思いますので、事ある度に自分たちの地区の状況や避難場所など確認いただけるように広報に努めてまいります。

○旧東野鉄道線の変則五差路の交通対策について

《ご回答》 「ラウンドアバウト」と呼ばれるヨーロッパの街中にあるような環状交差点、丸い交差点に車が進入する際に必ず時計回りに進入する方式の交差点を計画させていただきます。

○コミュニティスクールの他地区の状況について

《ご回答》 学校だけでは片付けられない問題について、地域コーディネーターが中心となって、子どもたちの見守りや、学校職員が行っていた仕事等も専門の知識をお持ちの方にお手伝いいただくなど、地域でできることは地域で行っていただいております。

○河川の草刈りの費用負担について

《ご回答》 那珂川、箒川、巻川など一級河川を対象に栃木県が実施しています「愛りバー事業」に登録いただきまして、保険の加入、チップソー、手袋の支給などの支援があります。

○重篤な患者の受け入れを近くの救急病院にしてもらいたい。

《ご回答》 那須赤十字病院が地域医療支援連絡会議を年 4 回開催しており、そのな

かで受け入れ体制の強化を図っていただくようお願いしてまいります。

○廃品回収業者への査察を含めた指導について

《ご回答》 現状を把握したうえで、今後の指導について警察等と協議してまいります。

○野外焼却について

《ご回答》 市も通報があれば現場に向かいまして中止させますが、燃えている現場を押さえることが重要です。警察にすぐ通報するとともに、消防にも通報してください。

## 黒羽地区市政懇談会

日 時：平成30年7月11日（水）午前9時30分  
会 場：黒羽・川西地区公民館



懇談テーマⅠ 地方創生・行財政改革に関するご意見  
地域おこし協力隊の活動状況と今後の市の方針について

《ご回答》

平成27年6月から隊員を任用し、これまで延べ25名を任用してまいりました。現在は12名の隊員が、新規就農、文化・芸術による地域振興、中心市街地の活性化など幅広い分野に渡って、市内全域で活動をしております。

地域に貢献が出来て、かつ任用後の活動のビジョンを持った隊員を募集してまいります。隊員が任期満了後も定住・定着を図り、地域の活性化に寄与することも重要であり、市では起業支援補助金を用意し、隊員自らが起業をすることにより本市に定住・定着できるように取り組んでおります。平成30年度中に3年間の任期が満了する7名の隊員は、全員が本市に定住する意向を持っておりますので、引き続き地域に定着し、将来その地域を担う人材として活躍していただきたいと考えております。

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

前田地内の国道461号線と市道前田4号線が交流する丁字路周辺の側溝の見直しと、学校給食センターの雨水処理対策について

《ご回答》

市道前田4号線には30cm×30cm断面のU型側溝及び、農業用水路を兼ねた50cm×50cm断面のU型側溝が整備されていますが、隣接地の宅地化が進み、最近のゲリラ豪雨などでは一気に雨水がT字路に集中し、溢水するものと考えております。側溝の放流先が限られているため見直しは困難となっています。

学校給食センターに雨水処理施設がなく、そのまま側溝に流れるようになっているため、

敷地内処理など対策を検討してまいります。

### 懇談テーマⅢ 公共施設の利活用に関するご意見

廃校から 5 年が経過した旧片田小学校の利活用について、今までの経緯と民活を含めた今後の市の考え方をお伺いしたい。

#### 《ご回答》

平成 25 年度に文部科学省が実施している「みんなの廃校プロジェクト」に登録し、公募を行い、平成 26 年度及び平成 28 年度も公募を行いましたが、いずれも応募はありませんでした。公募以外でも数件問合せがありましたが、大規模な改修が必要になる等の理由で、利活用には結びついておりません。

今年度は、どのような条件を提示すれば事業者が参入するのを探るため、サウンディング調査の実施を予定しております。直接事業者と対話することにより、条件等を検討し公募につなげてまいります。

### 懇談会でいただいたご意見

#### ○全国平均からみた市債の健全性について

《ご回答》 「財政健全化法」のなかの健全化判断比率、たとえば経常収支比率あるいは将来負担比率というような指数が示され、そのなかでは健全であるという判断がされています。

#### ○小学校の統合計画はどのように進むのかお聞きしたい。

《ご回答》 須賀川小は英語特区として、両郷中央小は学力向上特区として存続するというので、現在のところ統合の考えはありません。

#### ○古いゴミ袋の使用について

《ご回答》 6 年前から、現在の袋に変更いたしました。その後、何度か猶予期間を設けていましたが、今年度から新しい袋に統一するというので、9 月まで 10 枚単位での新しい袋への交換を行ってまいりました。

#### ○消防団の合併について

《ご回答》 条例上、定員は 1,052 名となっており、今年 4 月は 958 名で定員まではいっていない現状ですが、合併ということは考えておりません。市職員の採用試験の時には入団の意思の確認をしたり、また機能別消防団制度や「サポート事業」など様々な方法を取って定員を維持できるように工夫してい

るところです。ただ、将来的には、いつまでも続くとは言えませんので、地域から意見を出していただけると、様々な検討ができると思います。

○堤防の劣化について

《ご回答》 道路維持課までご連絡いただければ、市から県に繋がりますので、情報提供をお願いいたします。

○統廃合に関するガイドラインの作成について

《ご回答》 「小中学校再編整備に関する答申書」が出され、これに基づき行っております。統廃合に関しては、本来は児童数の適正化が一番良いのですが、「学校がなくなると地域が減じる」という考えがあり、答申書通りには進んでいないのが現実です。

○黒羽刑務所の跡地の有効活用について

《ご回答》 県知事からも副知事を通じて、情報提供と全面協力をしていただけると言われております。建物を解体していただいて更地になった段階で、市としては企業誘致できるような工場用地になればと考えております。

## 川西地区市政懇談会

日 時：平成30年7月11日（水）午後1時30分  
会 場：黒羽・川西地区公民館



### 懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見

市道南金丸桧木沢線の市道羽田黒羽向町線との交差点から一般国道294号線までの道路拡張等改良について

黒羽中学校生徒の自転車通学の安全確保のため、那珂川にかかる橋（黒羽橋）近辺の防犯灯設置について

#### 《ご回答》

市道南金丸桧木沢線の桧木沢地区1.3km区間においては、車両のすれ違いが困難であり、歩道が未整備であることも認識しておりますが、現時点での整備計画はございません。

まずは、改修に着手した路線の早期完了を目指すとともに緊急性などを考慮しながら整備を推進してまいります。

黒羽中学校の自転車通学になった場合の通学路の夜間の安全確保のために、中学校と教育総務課、危機管理課が協議し、久野又地内に12基、桧木沢地内に7基の防犯灯を設置いたしました。

黒羽現場の状況を確認し、地元自治会長の皆様のご意見を伺い、中学校、危機管理課と連携し、危険な場所から優先に防犯灯を設置してまいりたいと考えております。

### 懇談テーマⅡ 産業の振興・雇用に関するご意見

川西地区を含め雇用促進と、黒羽刑務所の跡地利用および雇用対策として工場誘致（産業振興）等について

#### 《ご回答》

中田原工業団地への資生堂や野崎工業団地での京浜精密工業、品川台工業団地へのタカ

ネットサービス等の企業進出により、多くの地元雇用が生まれるものと想定しております。今後は、そこで働く人をいかにして確保し、また既存企業や中小企業での人材確保のための環境を整え、各企業がバランスよく雇用の確保を図れるよう、県やハローワーク等と連携し、市内企業に関心がある学生等のU I Jターンを促進し、求人企業合同説明会の開催を積極的に支援してまいります。

また、黒羽刑務所の敷地面積は約 20 ヘクタールであり、法務省が関係省庁と協議しながら検討していくと報道されております。本市といたしましては、今後様々な機会をとらえ、県と協調しながら、地域活性化に寄与する跡地利用について企業誘致での活用を第一として国に要望してまいりたいと考えております。

### 懇談テーマⅢ 公共施設の利活用に関するご意見

旧黒羽公会堂が使用中止になった理由とこれからの取扱いについて

旧川西中学校の校庭を含めた跡地利用と樹木の管理について

#### 《ご回答》

旧黒羽公会堂は、年間 24 回程度と他の施設と比較して少ない利用状況であり、また築後 58 年が経過し、老朽化による雨漏りや建物劣化が進んでいること、さらに、側面がブロック積みであることなど、耐震化ではない施設である現状から、利用団体等の皆様に、近隣施設での活動をお願いし、ご理解をいただきましたので、昨年 9 月に廃止の手続きを行い、現在は土地建物を含め、どのような運用が最適か検討しているところです。

つぎに旧川西中学校は、校舎が閉鎖型植物工場及び精米事業や障害者就労継続支援事業の場として利用され、多目的運動場は市内 6 つの学校跡地運動場のうち、最も利用者が多く、体育館も一年を通して利用されており、今後も、現在の利活用を継続することとしておりますので、現時点においては、公共施設としての再利用計画や民間による跡地利用について募集する予定はございません。

樹木の落下については、すぐに現場を確認し応急処置として張り紙をしたところです。伐採について、この後対応いたします。

### 懇談会でいただいたご意見

○空家への立入禁止や危険箇所の表示について

《ご回答》 市ができる対処を講じてまいります。

○「芭蕉の里くろばね」とロゴの入った街灯について

《ご回答》 現場を確認し必要に応じ補修していきます。

○グラウンドゴルフへの助成について

《ご回答》 庁内で検討いたします。

○道路の除雪作業への補助金について

《ご回答》 除雪の補助制度はありませんので、除雪を行っている場所の確認等をお願いします。

○融雪剤の自治会への配布について

《ご回答》 自治会配布を実施してまいります。

○サイプレス南側 3ha の土地の利用方法について

《ご回答》 分譲地として活用できれば良いが、現在のところ、そこまでの計画は立っておりません。今後、企業誘致も含め検討してまいります。

○エアコンの設置について。

《ご回答》 平成 31 年度に市内小中学校（大中を除く）に設置し、夏季には使用可能となるよう進めてまいります。

○寒井の駐在所の移転について。

《ご回答》 計画がある場合には地元の要望を伝えたいと思います。

○川西集落排水事業も公共下水道に移行する計画があるのかどうか。

《ご回答》 川西第一地区においては賦課金の未納者が相当いる現状であり、先の見えない状況ですが、将来的には移行する予定です。

○自治会未加入者が増え、広報の届かない家庭に必要な情報は届いているのか。

《ご回答》 広報は支所やコンビニにも置いてありますし、スマートフォンをお持ちなら、情報を取得しようと思えば市 HP から取得することは可能です。

自治会に加入するかしないかは別問題であり、加入しないデメリットではなく、加入した場合の色々なメリットを話すことのほうが加入率は上がるように思います。



## 両郷地区市政懇談会

日 時：平成30年7月18日（水）午後1時30分  
会 場：両郷地区コミュニティセンター



### 懇談テーマⅠ 鳥獣被害に関するご意見

ICT を活用した効率的な対策の実績及び今年度の計画。

野生鳥獣防護柵設置事業の実績及び今年度の計画。

捕獲・駆除の今年度の計画。

里山林の緩衝帯の整備実績及び今年度の計画。

### 《ご回答》

栃木県が事業主体の「ICT を活用した効率的な対策」の実績ですが、平成28年度には南方・雲岩寺地区、平成29年度には須佐木・雲岩寺・露久保地区において、カメラ14台・センサー12台を設置し、実証試験を実施いたしました。

今年度は、業務委託の入札を7月中旬に実施予定ですので、実際にカメラ等を設置するのは、昨年度同様被害が増えてくる9月ごろになるかと思います。

野生鳥獣防護柵設置事業の実績及び今年度計画については、平成27年度が申請30件・設置延長8,466m・補助金171万7,000円、平成28年度が申請33件・設置延長7,175m・補助金165万9,000円、平成29年度は申請96件・設置延長39,629m・補助金659万2,000円となっており、今年6月末時点の実績は、申請21件・設置延長12,390m・補助金96万5,000円となっております。

捕獲・駆除の今年度の計画についてですが、平成28年度に策定いたしました「大田原市鳥獣被害防止計画」においては、平成29年度から平成31年度までの3年間の捕獲計画数は毎年130頭としておりますが、平成29年度の捕獲頭数は174頭となっており、計画を大きく上回っている状況です。

里山林整備の「とちぎの元気な森づくり県民税事業」は、今年度から第二期目に入りま

したが、両郷地区では、河原地区が第一期目からこの事業に取り組んでおり、引き続き第二期目で新たに創設された管理事業に取り組む予定になっております。

また、新規の寺宿地区で 6ha の整備を計画しており、初年度は市で森林整備を行い、その後の 4 年間は地元管理団体が管理を予定しております。

#### 懇談テーマⅡ 地方創生・行財政改革に関するご意見

「おおたわら国造りプラン」の実実施計画の平成 30 年度の重点事業について  
両郷地区については、どのような計画であるかについて

#### 《ご回答》

平成 30 年度事業計画の総事業費は 231 億 6,730 万円となっており、主な事業としましては、「効率的・効果的な行財政運営のまちづくり」として、市庁舎復興再整備事業費 30 億 6,040 万円を計上しております。また、「道路・河川の整備」におきまして、国の交付金事業を含めた道路改良工事費及び道路・橋梁の修繕費等に 17 億 9,390 万円、小中学校の給食費完全無料化を継続するため、学校給食サービス事業費に 2 億 6,370 万円などを計上しております。

両郷地区におきましては、自然環境の保全に関する「有害鳥獣対策事業」、農業の振興に関する「中山間地域等直接支払交付金事業」、地域住民の生活福祉の向上にも繋がるデマンド交通を含む「市営バス運行事業」、さらには文化・芸術活動の拠点となる芸術文化研究所の運営、地域内の道路整備、学校やコミュニティ施設の維持管理などを継続して実施しております。

#### 懇談テーマⅢ 少子化・子育て・男女共同参画に関するご意見

少子・高齢化対策における市の対応策について  
対策の実績及びこれからの計画について

#### 《ご回答》

平成 27 年 3 月に「大田原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、さまざまな子育て支援施策、「教育・保育サービスの充実」「地域における子育て支援サービスの充実」「地域における子どもの活動の場や機会の確保」「安心して出産できる環境づくり」として手厚い子育て支援事業を行っております。

「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画を平成 31 年度に策定する予定ですので、市民の皆様のニーズ調査を実施し、子育て政策をさらに一層充実させてまいります。

次に、高齢化対策についてであります。平成 30 年 4 月 1 日現在、本市の高齢化率は 28.12%で、団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年には、高齢化率が 32.3%と推計されて

おり、3人に1人が高齢者となると見込まれております。

平成12年に介護保険制度が開始されて以来、「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」、通称「あんしんプラン」に基づき、高齢者施策を実施しており、今年度から3年間の計画期間とする第7期計画がスタートしたところです。

本市の高齢者施策は、大きく分けると介護保険事業と高齢者福祉事業に分類され、介護が必要になった場合、必要なサービスが必要な時に受けられる環境と、地域の支え愛の活動など高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整えています。高齢者福祉事業は要介護状態でなくても、安心して不便のない生活を送れるよう各種支援を実施しております。

#### 懇談会でいただいたご意見

##### ○効果的な鳥獣対策について

《ご回答》 市としては、鳥獣被害対策実施隊ということで、民間5名の隊員の方と職員2名の7名体制を整え、国・県との縦と市町との横の連携を取りながら、色々な方策を検討し、継続した対策を実施してまいります。

##### ○両郷中央小のプールの修繕について

《ご回答》 プールの維持管理の問題と合わせて、プールにずっと水を入れておくことによる環境問題により、全国的には各学校にプールを設置しない方向に進んでいます。今現在は白紙の状態です。

##### ○マイナンバーカードについて

《ご回答》 マイナンバーカードの利便性としては、本人確認の書類、税の電子申告、児童手当の現況届手続き等ができるようになっています。

##### ○鳥獣対策の啓蒙活動について

《ご回答》 意識面のPRを実施隊といっしょに啓蒙していきたいと考えております。

##### ○学童保育について

《ご回答》 学童保育は、学校が終わり家庭に帰ったときに子どもを見てくれる人がいないということが前提になりますが、両郷中央小では家庭で保育ができない、利用を希望する児童数が10人に満たないため、厚労省の補助事業外となり、黒羽幼稚園にお願いしています。

## 須賀川地区市政懇談会

日 時：平成30年7月20日（金）午後1時30分

会 場：黒羽農業構造改善センター



### 懇談テーマⅠ 安全・安心な地域社会に関するご意見

過疎化が進むこの中山間地域での空き家の管理には限界があり、景観が損なわれる可能性があり、防災及び防犯の観点から安心・安全が危惧されます。空き家対策について

#### 《ご回答》

市の空き家対策といたしましては、空き家の利活用を図るための「空き家情報バンク制度」を平成26年度から実施しており、平成30年5月末現在の空き家バンク登録件数は19件で、うち11件が成約に至っており、空き家の利活用が図られているところであります。

また、「空き家等の適正管理に関する条例」を平成26年9月から法律に先駆けて施行していましたが、「空き家法」の制定により、それまでは出来なかった空き家等の所有者等に関する必要な情報を求めることが可能になったことにより、空き家等所有者への助言・指導が以前より容易にできるようになり、管理不全な空き家の状況を不在地主などへ通知し、改善が図られている例も見受けられるようになりました。

今後も、空き家等の情報を把握し、関係機関と連携を図り、空き家対策を講じてまいります。

### 懇談テーマⅡ その他（里山林の整備について）

「とちぎの元気な森づくり里山林整備事業」に取り組んでおりますが、高齢化により今後の活動に支障を来す状況と考えます。里山林の整備も必要不可欠ですが、獣害対策は喫緊の課題であり、将来にわたり普遍的な交付金の維持を含めた里山林の整備と獣害対策について。

《ご回答》

里山林の管理につきましては、ご指摘のとおりやる気はあっても体が追いつかない、人がいないなどの話を以前から耳にしております。補助金にも限度がありますので、今後はとちぎの元気な森づくりサポート事業などと連携し、団体とボランティアのマッチングや人材育成を推進し、人材を確保する方法を検討していく必要があると考えております。

新たな森林経営管理制度は、森林所有者に適切な森林管理を促すため、森林管理の責務を明確化することを目的として創設され、その施策を実施するために森林環境譲与税が配分されます。その用途については、今後検討していくこととなりますので、制度が明確になり次第、速やかに対応してまいります。

懇談テーマⅢ 産業・雇用に関するご意見

市が推奨する「バイオマス構想」が国から認可されましたが、当該事業の進捗状況と、市の今後の方針について

《ご回答》

具体的な施策として、4つの事業化プロジェクトを創設し、構想の実現に取り組むものとしておりますが、その1つとして、八溝材などの地域の木材を原料とする「地域材エネルギー利用プロジェクト」があります。木材の搬出により発生する林地残材やコスト面から森林に残される切捨て間伐材を活用し、民間事業者が地産エネルギーを創出するものですが、現在、大田原市全域においては、送電線に空き容量がないため、売電をするための電源接続、いわゆる系統連系ができない状況が続いております。そのため、いずれの事業者も事業計画の停留を余儀なくされているのが現状です。

「大田原市バイオマス活用推進協議会」を設置し、売電に頼らない、熱利用を主とした事業について検討を始めています。

懇談会でいただいたご意見

○イノシシの増減とその対策について

《ご回答》 イノシシの数の増減ですが、県の調査では増えてはいません。若干減少している状況です。ICT等を活用しながら、どういう状況で獣道を歩くのかなどの行動状況を掴みながら、効率的な捕獲を国・県と協力しながら進めてまいります。

○副市長2人制について。

《ご回答》 永山副市長は、総合政策部、財務部、建設部、水道部の4つの部と市長部局以外の選管・監査、議会事務局の職員に関して担当しており、藤原副

市長は、産業振興部、保健福祉部、市民生活部、教育部のほか農業委員会を担当しています。

分担制を敷いた上で協力するところもありますが、スピード感をもって仕事を進めています。急いでやれるものはやっていき、時間がかかる大きな事業についてはきちんと先鞭をつけていきます。

○どのような災害を想定し、防災計画を立てているのか。

《ご回答》 水害、地震などありますが、この地区でいいますと土砂災害が一番関係してくると思います。現場にいち早く対応できるのは、自主防災組織だと思います。非常に重要になってくると思いますので、制度を活用して防災力を高めていただきたいと思います。未結成の地区は、ぜひ検討いただきたいと思います。

○那須山の噴火について

《ご回答》 気象庁では噴火の影響が出るエリアを示しており、大田原市はそのエリアには入っておりません。ただ噴煙や降灰については市全体が風の向きによっては影響を受けるものと思います。ただ、直接的な被害はないだろうと考えています。

○防災の冊子の作成について

《ご回答》 ハザードマップは平成 24 年 8 月に作成し、年度内に全戸に配布いたしました。市 HP にも掲載されています。今年 5 月に県が河川の浸水想定区域の見直しを行い、それに伴ない市も見直しを予定しています。今後、土砂災害区域の見直しも想定されますので、今回は浸水想定区域についてだけ、ポスター形式で作成する予定です。

○家庭でのゴミ焼却について

《ご回答》 1000 度から 1200 度で焼却しているクリーンセンターでは、ほとんどダイオキシンは発生しませんが、家庭で燃やすと、一番ダイオキシンが発生しやすい温度ですから、発生するダイオキシン量は多くなります。

地域みなさんが話をさせていただいて、指導権限をお持ちの保健委員さんからやんわりと言ってもらって、それでもやめないようなら生活環境課の職員から指導いたします。